

平成 29 年度 第 1 回

JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：平 29 年 6 月 5 日（月）14：00～15：00

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟 2 階大会議室

出席者：渡邊委員（大田区保健所所長）

宮島委員（蒲田医師会監事）

神成委員（特別養護老人ホーム大田翔裕園施設長）

薄井委員（岩井機械工業株式会社専務取締役）

田中委員（南蒲田二丁目町内会町会長）

東京蒲田医療センター：石井委員、小名木委員、本田委員、岩下委員

菅原委員、笹本委員

司 会：東京蒲田医療センター院長 石井耕司

【議事内容】

(院長)

本日は、JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。
います。

JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会は、昨年度は残念ながら都合が付かず開催する事が出来ませんでした。大変申し訳ございませんでした。今年度は、早々に開催する事が出来ありがとうございます。この協議会の会長は院長とすることとなっておりますので、私、石井が担当させていただきます。それでは、早速ですが委員の紹介をさせていただきます。

院長より各委員の紹介が行われた。

(院長)

先に菅原事務部長より、協議会の説明および病院の概況説明をさせていただきます。

(菅原委員)

資料に基づき下記事項について説明を行った。

- ①地域協議会の目的
- ②病院概況
- ③事業概要
- ④地域との交流
- ⑤今後の予定

(院長)

それでは、意見交換に入りたいと思いますが、当院の利用者、その他関係者のご意見を頂戴し、また、情報交換をするというのがこの会の目的ですので、是非とも何かご意見等がございましたらお願いいたします。

(渡邊委員)

資料の中からいくつか質問をよろしいでしょうか。こちらの病院は急性期、回復期、地域（包括ケア）でいうと、病床数の割合はどのようになっているのでしょうか。

(院長)

225床のうち、49床が地域包括ケア病棟となっております。リハビリをしたり、例えば退院はもう出来るが、自宅に帰った後の準備等のために待機する病棟ということで、最大60日居れるという病棟が49床あります。それ以外は急性期病棟ということになります。176床が急性期、49床が地域包括ケア病棟で亜急性期ということになります。慢性期ではありません。

(菅原委員)

地域医療構想の中では、高度急性期、急性期、その次の回復期ということになります。

(渡邊委員)

それで療養介助職の方がいらっしゃるのですか。

(岩下委員)

はい、地域包括ケア病棟には看護助手ということで、少し多めに配置しております。

(渡邊委員)

健診受診人数で、院外というのは健診車で受診された方の数でしょうか。

(菅原委員)

そのとおりです。

(渡邊委員)

そういう方の健診結果は、どのような方法で返されているのでしょうか。

(本田委員)

2、3週間のうちに結果表を郵送しております。

(院長)

当院の場合は、企業健診と大田区の健診も実施しております。

(本田委員)

大田区のがん検診・生活習慣病健診は健診センターにて実施しており、岩井機械工業様のような企業の健診を健診バスで行っております。

(薄井委員)

私どもは、本社は羽田ですが厚木に工場がありまして、そこに健診バスで来ていただいています。本社も年に2回、健診バスを2台連ねて来ていただいて、ほとんど社員全員が受診して、約2、3週間で個人宛に結果表が送付されています。

(渡邊委員)

区民公開講座をしていただいて、大変ありがたいことだと思っています。参加されているのは近隣の方でしょうか。とても大事なテーマを挙げていただいています、どのくらいの方が出席されているのでしょうか。

(院長)

昨年までは市民公開講座でしたが、今年から区民公開講座に名称を変更いたしました。南蒲田二丁目町内会を中心に開催させていただき、田中町会長には大変お世話になりました。参加者は南蒲田が約30名、それ以外からも10名ほどお越しいただきました。今年度も9月と来年の3月に町内会を中心に考えております。

(田中委員)

この様なセミナーとか説明会を開催する場合は、出来るだけ早めに連絡をいただきたい。皆さん参加したいという気持ちがあっても、他の用事があるって行けない事もある。私も人数が少ないと困ると思っいろいろと手は尽くしているが、何分にも年配の方が主であって、若い方はなかなか来ないものですから、テーマによっては若い方が話しを聞いた方がいいのではないかとこのところがありますから、出来れば早めに連絡をしていただければ有難いと思います。

(院長)

前回のときは、極めて短い期間で大変ご迷惑をお掛けいたしました。約1ヶ月前に準

備が出来たものですから、ご連絡が遅くなりまして申し訳ございませんでした。

(菅原委員)

開始時間等、町内会のご希望はございますか。

(院長)

前回、アンケートを取って一番多かったのが土曜日の午後1時とか2時だったと思います。

(田中委員)

2時ぐらいが一番いいと思います。今回の28日に行われる地域医療連携セミナーは19時30分となっていますが、これは一般向けではないのですか。

(院長)

このセミナーは、嚥下の誤嚥をどう予防するかということで、医師、歯科医師、リハビリ、介護職員など嚥下を手助けする側の勉強会という意味合いで行うもので、住民の方が対象ではございません。

(渡邊委員)

区民公開講座などは、地域の特別出張所とか蒲田地域健康課にご案内いただければ、チラシを貼るとか、置いておくことで区民に周知出来ると思いますので、広報とか宣伝もお願いしたいと思います。

(院長)

病院の会議室で行うため、収容人数に制限があります。仮に収容人数を超える人数が来たらどうするかという要因もあり、どこまで広報するかという問題が以前からもあって、まずは地域からということで始めました。一つの方法として、100人以上の規模であれば、大田区の会場を借りて企画しなければと思っております。その際には、是非とも大田区の特別出張所とか蒲田地域健康課に連絡して、蒲田の広い範囲に広報したいと考えております。

(薄井委員)

この件については、私も何処でやっているのかな、どういう方法で広報しているのかなと思っていました。広報と人数は裏と表ですので、今で謎が全部解けました。且つ、そこで思うのは、やって行く事が大事だということです。これを実施されていることはすばらしい事だと思います。更に申し上げれば、徐々に皆さんの協力を得なが

ら広げていく方針が一番よろしいのではと感じました。

(院長)

他にご指摘、ご意見等ございますでしょうか。

(宮島委員)

駐車場入口付近の工事がようやく始まりました。看板などが傾いていたが、病院に来る人は外観を重視するので早く直したほうがいいと思います。また、敷地が開かれた感じでフェンスも無いので、越えられない程度のフェンスを作って綺麗にすれば、もっと病院らしくなり、エントランスだけでも良くすれば違うのではないかと思います。

(院長)

公開空地となっております、フリーアクセスで入って来れるというのが必要なため、フェンスの設置はしておりません。

(宮島委員)

事務とかで、患者さんに対する接遇とかは教育されているのですか。

(院長)

受付に出ている事務員は業務委託となっております。

(宮島委員)

人によってですが、プロ意識を持って患者さんの立場に立って受付してもらわないと良くならないと思います。

(院長)

接遇の件については、以前からも話があり、重々承知しております。委託業者に何度か申し入れは繰り返し行っているところです。委託会社の中で病院側からの意見をリコメンデーションしているというのが現状であり、極めて機敏にはいきません。それでも少しずつではありますが、クレームの数が減っているという認識はあります。後は、委託契約の更新時に大きな変化を期待するということになります。

(宮島委員)

その様な会社は、何社かあるのですか。

(菅原委員)

ございます。ただ、入札ということでどうしても金額の問題があります。プロポーザル入札のように金額だけではなく質も見て行う手立てもありますが、現状は最低入札価格で契約をしております。

(田中委員)

利用する立場から言わせていただきます。一つの病院で複数の科に受診出来るのは患者側としては良い事なんです。それがこの間の新聞に、紹介料として5千円をプラスするということが記載されており、とにかく地域の診療所の紹介状を持って受診するようにとの事ですが、いかがなんでしょうか。

(院長)

これは国の方針です。大学病院や病床数の多い病院は、急性期に特化することとして、紹介が無い場合は初診料とは別に病院で定めた選定療養費をいただくこととなっております。つまり、この制度は何かあったら近くのお医者さん、または夜間の診療所に掛かってくださいというメッセージです。当院では昼間の紹介状が無い患者さんからは選定療養費として2千円をいただいております。夜間は救急加算等がありますので選定療養費はいただいております。

(院長)

他にご意見等はございますでしょうか。無いようでしたら本日の協議会は終了とさせていただきます。次回は12月を予定しておりますので、10月頃に日程調整をさせていただきます。本日はありがとうございました。

以上にて閉会となる。